

Do CL Column



どうも遭難しそうなタイプです

—カタツムリ NO. 113 から 

増田浩章

スマホのニュースで、山での遭難について書かれていた記事を読みました。山登りをする人にとっては基本中の基本だと思いますが、道に迷った時は、2つ大原則を守ることだそうです。

①迷ったら引き返す ②迷った時に沢に降りてはいけない

おかしいなと思った時、元に戻れば正しい道に出るのですが、そうしない人が多い理由として、以下の点が挙げられています。

- 今までのコストとこれからのコストを比べ、今までのコストが大きいと、今後のコストが未知なのに過小評価する。
- 人に備わる楽観的思考が、危険な未来を過小評価する。
- 非常時でも正常時と同じ判断力があると思い、リスクを回避しない。
- 決断を避け問題を先送りする事によりリスクが積み重なる。

この記事を読んだ時には、自分は大丈夫だろう思ったのですが、先日バイクを走らせていた時のことです。どうも行く手の雲行きが怪しいと思ったのですが、まあ大丈夫と楽観視してトンネルを抜けたら、土砂降りに見舞われました。

上着のポケットにはスマホがあったのですが、多少濡れても平気だろうと思い、そのまま家に引き返したら、スマホの電源が入りません！まだ分割払い中なのに「やってしまった」と思いましたが、後の祭りで、新しい機種を注文しようと思っていたら、夜に復活しました！

今回の事を振り返ると、私は間違いなく山で遭難しそうなタイプです。皆さんも気を付けてください。愛車のレブル250をまだ楽しむためにも、迷ったら引き返すことを肝に命じます。

(静岡県静岡市インストラクター)

 [目次へ戻る](#)